

導入事例 Case Study

必要なときに、最適なコンテンツを素早く提示 安全性と利便性を両立したタブレット端末利用環境でMRを支援



大手医薬品メーカーのアステラス製薬株式会社(以下、アステラス製薬)は、MR(医薬情報担当者)向けに配布していたタブレット端末の更改に着手。ソフトバンクテレコムから、新たに3,000台のタブレット端末を導入すると同時に、最適な利用環境を構築しました。具体的には、ソフトバンクテレコムのネットワークサービスやデータセンター、セキュリティサービス、MDM(モバイルデバイスマネジメント)やヘルプデスクといった運用管理サービスなどを組み合わせ、同社の情報セキュリティ要件を満たしつつ、安全性と利便性を両立。MRの業務を支えています。



課題と効果



アステラス製薬株式会社
コーポレートIT部
S&Mグループ 課長
山内 英樹 氏



アステラス製薬株式会社
コーポレートIT部
S&Mグループ 課長
長谷部 隆幸 氏



アステラス製薬株式会社
コーポレートIT部
S&Mグループ
岡崎 秀平 氏

課題 MR向けのタブレット端末の更改を機に、最新のタブレット端末を導入し、より安全で利便性の高い仕組みを構築したいと考えました。

効果 ソフトバンクテレコムは、単にデバイスを提供してくれるだけでなく、さまざまなサービスを組み合わせで最適な利用環境を提供可能。セキュアなモバイルアクセスやデバイスマネジメントの仕組みをワンストップで実現できました。

課題 外部から社内システムにアクセスするには、セキュリティ要件を満たすために、複数の認証手続きが必要。利便性を損なわず、セキュアにアクセスできる仕組みを求めていました。

効果 「ホワイトクラウド PKIプラットフォーム」や「ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント」を活用するとともに、最適なネットワーク設計により、認証を集約しセキュアかつ効率的な運用が可能になりました。

導入の背景 ●●●●●● MRの情報提供力の強化のためにタブレット端末を積極活用

「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを理念に掲げ、研究開発型の事業を展開するアステラス製薬。日々、革新的で有用性の高い新薬開発に意欲的に取り組んでいます。

医薬品産業は政府が成長牽引産業に位置づけ、革新的新薬の創出が期待されるなかで、国際競争も激化しています。また、医師や薬剤師など医療関係者に医薬品情報を提供するMR(医薬情報担当者)の役割も、いっそう重要で多様化しています。「MRは新しい医薬品、既存の医薬品ともに、必要な患者さんに対して適正に処方されるよう、安全性や有

用性などの情報を正確・迅速に提供し、また市販後調査など使用成績を収集しながら、医療貢献の一翼を担います」と同社の山内 英樹氏は述べます。

そこで同社は、MRの業務支援を目的にタブレット端末を導入。「製品の基本的な情報や、説明を行うための資料に加え、動画やリッチコンテンツなどを活用した情報提供力を強化しました。また、外出先からでもインターネットや社内システムにアクセスし、必要な情報をすぐに入手できる環境を整えました」と同社の長谷部 隆幸氏は説明します。

選択のポイント ●●● 具体的な提案内容と迅速な対応に期待

導入から数年を経て、同社はタブレット端末の更改に着手しました。「この分野は技術の進展が早いうえ、利用する中で改善点も見えてきました。また、更改を機に情報提供アプリケーションを再構築しました」と山内氏は話します。

複数の選択肢を検討した結果、同社が選定したのが、ソフトバンクテレコムが提案するタブレット端末とネットワークサービスなどを組み合わせた仕組みです。決め手になったのは、タブレット端末の性能・操作性・利便性の高さに加え、ネットワークやMDMまで、システムをワンストップで提供できる総合力です。

「ソフトバンクテレコムはMRの利用シーンや当社のセキュリティ要件を

踏まえたうえで、最初から、細部まで配慮の行き届いた具体的な提案を行ってくれました。他社からの提案と比べても、差異は際立っていました。タブレット端末のポテンシャルを最大限に引き出しながら、安全性・利便性の高い利用環境を実現できると判断しました」と山内氏は選定の理由を述べます。

また、最適なタブレット端末の利用環境を、すでに多くの企業に提供している点、スピーディな対応も評価しました。「さまざまな問い合わせにも即座に対応・回答してくれ、非常に熱意を感じました。その姿勢を受け、私たちの期待も高まりました」と長谷部氏は語ります。

導入の概要と効果 ●●● MRの業務を支えるセキュアかつ効率的な利用環境を実現

現在、同社はタブレット端末を約3,000台導入しMRや営業マネジャー等に配布しています。同時に、従来は個別に開発していた「アプリ」をプレゼンテーションツールの中で動作するリッチコンテンツとして統合したり、頻りに利用する資料をツールのトップ画面に自由に配置できるなど、さまざまな改良を加えました。「立ち上げのスピードや操作性が根本的に改善し、通信品質も良く、MRにも好評です。お客様からは、さまざまな問い合わせがあるので、用意する資料も膨大。大量の紙資料を持ち歩くことなく、その場で即座に対応できるのは大きなメリットです」と同社の岡崎 秀平氏は述べます。

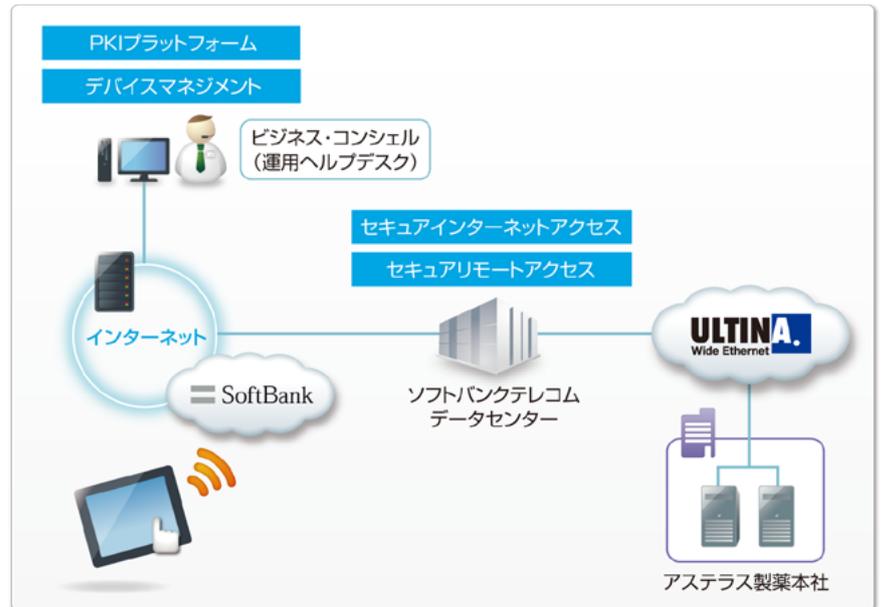
利用環境の面でも、ソフトバンクテレコムのネットワークサービスやデータセンター、セキュリティサービス、MDMやヘルプデスクといった運用管理関連のサービスなどを組み合わせ、安全かつ利便性の高い仕組みを構築できました。

例えば、ソフトバンクテレコムのデータセンターで利

導入したサービス

ソフトバンクテレコムは、各種スマートデバイスを提供するだけでなく、利用環境を最適化するサービスもあわせて提供しています。例えば、各種ネットワークサービスはもちろん、法人向けクラウドサービス「ホワイトクラウド セキュアリモートアクセス」「ホワイトクラウド PKIプラットフォーム」などのゲートウェイサービスは、モバイル通信の品質とセキュリティを向上します。さらに煩雑な運用・管理を一括アウトソースできる「ビジネス・コンシェル」には、情報の一括設定、紛失時リカバリーなどの機能を備え、デバイス管理に不可欠な「デバイスマネジメント」や、キッキングを行う「端末カスタマイズ」などのサービスがあります。お客様の要件に応じて、これらを自在に組み合わせ、セキュアかつ効率的なモバイルデバイスの利用環境を実現します。

ユーザーのインターネットログを収集・蓄積しているほか、アステラス製薬のディレクトリサービスと連動する新たな認証の仕組みも構築。アステラス製薬のセキュリティ要件として、外部からのアクセスの場合、複数要素の認証を求められます。しかし、あまりに認証手続きが多いとタブレット端末ならではの利便性が損なわれてしまいます。そこで「ビジネス・コンシェル デバイスマネジメント」と「ホワイトクラウド PKIプラットフォーム」を連携させ、認証の仕組みを構築しました。「最適なネットワーク設計を行ううえで、ソフトバンクテレコムのサポートが役立ちました。これにより、当社の要件を充足しつつ、効率的な運用が可能になりました」と山内氏は満足感を示します。また、ソフトバンクテレコムが既存の外部ベンダによるヘルプデスクと連携してサービスを一本化するなど、効率的な運用を支えるさまざまな工夫も行っています。



今後の展開 ●●●●● 業務用デバイスとして、新たな活用法を前向きに検討

以前は、タブレット端末になじめないMRもいたそうですが、更改後は、利用の割合が向上しています。「導入後の検証で、ディテール支援ツールの利用ページ数は約2倍に拡大。利用が広がっているのを感じます」と岡崎氏は分析します。

今後も、同社はタブレット端末のさらなる利用促進を図り、MRの業務支援を一層加速していきます。例えば、日常的に使用する習慣づけ

の一助として、研修資料のペーパーレス化なども予定しています。

「まだPCでしかできない業務をタブレット端末に対応させることで、業務はさらに効率化できると考えます」と山内氏。患者や顧客のことを考え、医療貢献を志向する同社のMRたちの情報活用を、今後もソフトバンクテレコムが支えていきます。

アステラス製薬株式会社

本社：東京都中央区日本橋本町2-5-1
創業：1923年
資本金：1,030億円(2013年3月31日現在)
従業員数：1万7,454名(2013年3月31日現在、連結ベース)
概要：「先端・信頼の医薬で、世界の人々の健康に貢献する」ことを経営理念に掲げ、研究開発型のグローバル製薬企業として積極的に事業展開を図っている。泌尿器疾患、免疫疾患(移植を含む)および感染症、がん、精神・神経疾患、糖尿病合併症および腎疾患の5領域を重点研究領域に掲げ、これらの領域でグローバル・カテゴリー・リーダーの地位を確立して活動を展開している。

URL：<http://www.astellas.com/jp/>



※パンフレット記載内容は、2014年3月現在のものです。